

【引受保険会社】

年金払定期付積立型変額保険

LIFE PRODUCE
(06)

ライフ プロデュース (06)

アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

2009年度
(2009年4月～2010年3月)
特別勘定の現況

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

【利用する投資信託の委託会社】

アライアンス・バーンスタイン株式会社

ALLIANCEBERNSTEIN

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン*の日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。業界最大級のグローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、グローブ株式、パリュウ株式、債券、ブレンド戦略など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「年金払定期付積立型変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
 - ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「年金払定期付積立型変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
 - ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
 - ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 - ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)(*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
 - ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。
- * 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

(2009年4月～2010年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2009年4月～2010年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇しました。TOPIX(東証株価指数)は前期末比+26.52%上昇の978.81ポイント(前期末は773.66ポイント)で終了しました。

8月までは、世界的な景気底入れと金融システム安定化への期待感などを背景に上昇基調が続き、900ポイント台後半まで上昇しました。その後、急速な円高の進行や新政権の政策に対する不透明感などを受けて11月末までは軟調な展開となり、800ポイント台前半まで下落しました。しかし、期末にかけ、円高が一服したことや日銀の追加的金融緩和、景気回復期待による米国株式市場の上昇などを受けて再び上昇に転じました。

業種別(東証33業種)では、景気回復期待と資源高から「卸売業」(前期末比+52.71%)が最も上昇した一方、日本航空が上場廃止となった「空運業」(同-53.49%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+42.68%上昇の10,856.63ポイント(前期末は7,608.92ポイント)で終了しました。

10月までは、金融システムの安定化や予想を上回る企業業績などから大幅に上昇しました。11月以降、ドバイの債務問題やギリシャの財政悪化懸念などによる景気の先行き不透明感が嫌気される局面もありましたが、低金利政策の継続などを好感し、上昇基調で推移しました。

欧州株式市場も、上昇しました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+44.66%上昇、仏CAC40は同+41.56%上昇、独DAXは同+50.65%上昇となりました。米国と同様に、世界的な景気回復期待を背景に大幅な上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、揉み合いの動きが続ききました。新発10年国債利回りは1.395%となりました(前期末は1.340%)。

国内外での景気底入れ期待を背景とした株高と国債増発による需給悪化懸念などから6月に一時1.5%台半ばまで上昇しました。しかしその後は、景気回復期待や財政問題を背景とした需給悪化懸念などによる金利上昇圧力と、日銀のデフレ克服に向けた低金利政策の長期化やドバイの債務問題などを背景とした債券買いによる金利低下圧力が交錯し、概ね1.2～1.4%台のレンジで揉み合いながら推移しました。

日銀は、政策金利を据え置き、年0.1%を維持しました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、金利上昇しました。景気回復期待と国債需給悪化懸念などから上昇基調で始まり、6月には米10年国債利回りは一時4%台まで上昇しました。その後、FRB(米連邦準備制度理事会)の低金利政策継続観測などは債券の買い材料となり、3%台前半まで金利は低下しましたが、2月にFRBが公定歩合を引き上げたことや景気回復期待などを背景とした株高などにより、期末は3.826%(前期末は2.663%)となりました。

欧州債券市場は、やや金利上昇しました。底堅い景気指標などから6月には独10年国債利回りは3.7%台に上昇した後、米市場に連動して堅調に推移しました。11月のドバイの債務問題や12月のギリシャの国債格下げなどを背景に、期後半は相対的に安全と見られる独国債が選ばれた結果、期末は3.092%(前期末は2.994%)となりました。

FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0～0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は、政策金利を4月と5月に0.25%ずつ引き下げ、年1.0%としました。

【外国為替市場】

外国為替市場は、円高基調で推移しました。

米ドル/円相場は、米国における低金利政策の長期化観測や、日本の新政権による円高容認観測などを受けて円高基調で推移しました。11月下旬にはドバイの債務問題による避難先通貨として円買いが強まったことから、1ドル=86円台まで円高が進行しました。期末には、円は対ドルで前期末比5円19銭(+5.28%)円高ドル安の1ドル=93円04銭となりました。

ユーロ/円相場は、1月の中旬まで概ね130円台で推移しましたが、ギリシャの財政悪化懸念を受けてリスク回避の動きが強まると、ユーロは対主要通貨で売られ、急激にユーロ安円高が進みました。円は対ユーロで前期末比4円92銭(+3.79%)円高ユーロ安の1ユーロ=124円92銭となりました。

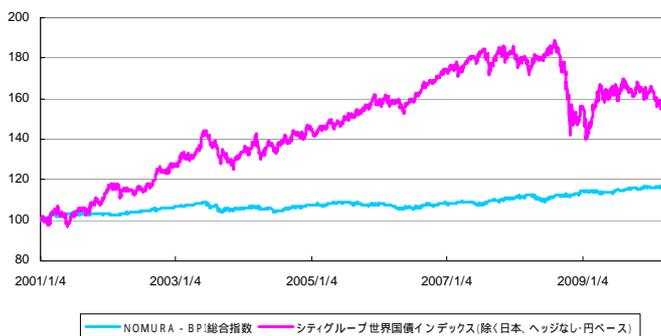
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

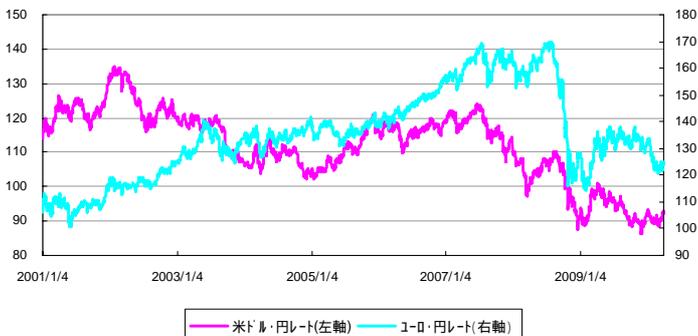


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

(2009年4月～2010年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の種類と運用方針について

| 特別勘定名 | 基本資産 配分比率 | 利 用 す る 投 資 信 託 | | |
|-------------------|---------------|--|--|----------------------------|
| | | 投資信託名 | 運用方針 | 委託会社 |
| ライフ プロデュース30 | 世界 株式 30% | 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・バランス (保守型) | マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の30%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹⁾ を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 | アライアンス・ バーンスタイン 株式会社 |
| | 世界 債券 70% | | | |
| ライフ プロデュース50 | 世界 株式 50% | 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・バランス (中立型) | マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の50%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹⁾ を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 | |
| | 世界 債券 50% | | | |
| ライフ プロデュース70 | 世界 株式 70% | 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・バランス (積極型) | マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の70%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹⁾ を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 | |
| | 世界 債券 30% | | | |
| ライフ プロデュース日本株式 | 日本 株式 100% | 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ ジャパン・スタイル・ブレンド・ ファンド - 1 | マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリューストック(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹⁾ を行います。 | |
| ライフ プロデュース世界株式 | 世界 株式 100% | 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・グロース・ オポチュニティーズ - 3 | マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国(日本を含む)の株式を投資対象に成長の可能性が高いと判断される「セクター」の中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資し、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 | |
| ライフ プロデュース世界債券 | 世界 債券 100% | 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・ボンド・ ファンド - 1 | マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 | |

特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

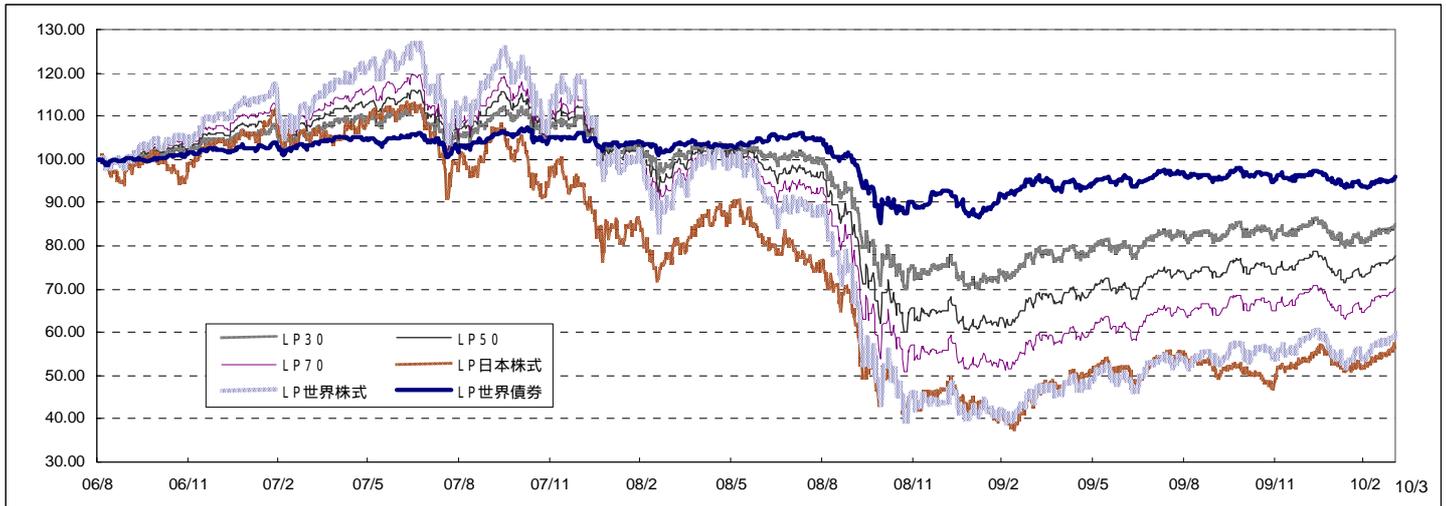
(2009年4月～2010年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2010年3月 末日現在]

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定資産の内訳

| 特別勘定名 | 資産残高 |
|---------------|-----------|
| | 金額(千円) |
| ライフプロデュース30 | 275,340 |
| ライフプロデュース50 | 1,852,836 |
| ライフプロデュース70 | 1,025,522 |
| ライフプロデュース日本株式 | 481,460 |
| ライフプロデュース世界株式 | 1,368,824 |
| ライフプロデュース世界債券 | 612,751 |

金額の単位未満は切捨てとしました。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2009年4月～2010年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

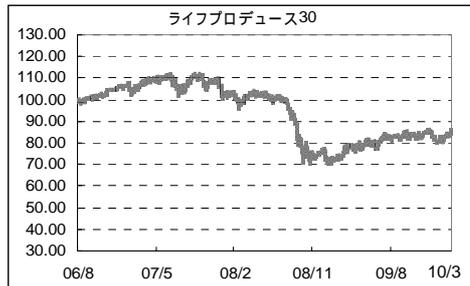
特別勘定 ライフプロデュース30 [2010年3月 末日現在]

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2009年度のユニット騰落率は+11.49%となりました。
当期の世界の債券市場は概ね上昇し、世界の株式市場は堅調に推移しました。為替市場では日本円が米ドルやユーロに対して上昇しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、世界債券Mファンドにおける社債の組入れなどがプラス要因だったものの、世界株式Mファンドの金融サービス・セクターをアンダーウェイトとしたセクター配分や金融サービス・セクターやヘルスケア・セクターにおける銘柄選択が主なマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。
今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



| ユニットプライス | | 騰落率 (%) | |
|-----------|-------|---------|-------|
| 2010年3月末 | 84.93 | 過去1ヵ月 | 4.99 |
| 2009年12月末 | 84.65 | 過去3ヵ月 | 0.32 |
| 2009年9月末 | 82.37 | 過去6ヵ月 | 3.11 |
| 2009年6月末 | 80.67 | 過去1年 | 11.49 |
| 2009年3月末 | 76.17 | 過去3年 | 19.65 |
| 2008年12月末 | 75.45 | 設定来 | 15.07 |

特別勘定資産の運用収支状況

| 項目 | 金額(千円) |
|-----------|--------|
| 利息配当金収入 | 1 |
| 有価証券売却益 | - |
| 有価証券評価益 | - |
| 有価証券償還益 | - |
| 為替差益 | - |
| その他収益 | - |
| 有価証券売却損 | - |
| 有価証券評価損 | 23,038 |
| 有価証券償還損 | - |
| 為替差損 | - |
| その他費用及び損失 | 106 |
| 収支差計 | 22,932 |

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

特別勘定資産の内訳

| 項目 | ライフプロデュース30 | |
|------------|-------------|--------|
| | 金額(千円) | 比率 (%) |
| 現預金・コールローン | 2,518 | 0.9 |
| その他有価証券 | 272,821 | 99.1 |
| 合計 | 275,340 | 100.0 |

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

(参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バースタイン・グローバル・バランス(保守型) [2010年3月 末日現在]

利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バースタイン・グローバル・バランス(保守型)
【委託会社】 アライアンス・バースタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の30%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス¹⁾を行います。実質組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主として
アライアンス・バースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券、
アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

当投資信託の資産配分比率 比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

| | 基本資産配分 | 投資信託 |
|-------------|---------|---------|
| 世界株式Mファンド* | 30.00% | 30.99% |
| 世界債券Mファンド** | 70.00% | 69.50% |
| 短期金融資産等 | 0.00% | -0.48% |
| 合計 | 100.00% | 100.00% |

* 世界株式Mファンド: アライアンス・バースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券

** 世界債券Mファンド: アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券

当投資信託の騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|
| 投資信託 | 5.14% | 0.67% | 3.66% | 13.22% | 16.86% | 7.39% |
| BM | 5.49% | 0.42% | 3.19% | 13.87% | 11.26% | 0.25% |
| 差 | 0.35% | 0.25% | 0.48% | 0.66% | 5.60% | 7.14% |

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、合成ベンチマークを指します。

合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

| | 投資信託 |
|---|--------|
| MSCIワールド・インデックス ²⁾ (税引後配当金込/円ベース) | 30.00% |
| シティグループ世界国債インデックス (円ベース) ³⁾ | 70.00% |

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2009年4月～2010年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 ライフプロデュース50 [2010年3月 末日現在]

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2009年度のユニット騰落率は+18.55%となりました。

当期の世界の債券市場は概ね上昇し、世界の株式市場は堅調に推移しました。為替市場では日本円が米ドルやユーロに対して上昇しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、世界債券Mファンドにおける社債の組入れなどがプラス要因だったものの、世界株式Mファンドの金融サービス・セクターをアンダーウェイトとしたセクター配分や金融サービス・セクターやヘルスケア・セクターにおける銘柄選択が主なマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

特別勘定資産の内訳

| 項目 | ライフプロデュース50 | |
|------------|-------------|-------|
| | 金額(千円) | 比率(%) |
| 現預金・コールローン | 17,511 | 0.9 |
| その他有価証券 | 1,835,324 | 99.1 |
| 合計 | 1,852,836 | 100.0 |

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

特別勘定資産の運用収支状況

| 項目 | 金額(千円) |
|-----------------|---------|
| 利息配当金収入 | 6 |
| 有価証券売却益 | - |
| 有価証券評価益 | - |
| 有価証券償還益 為替差益 | - |
| その他収益 | - |
| 有価証券売却損 | - |
| 有価証券評価損 | 236,404 |
| 有価証券償還損 為替差損 | - |
| その他費用及び損失 | 3,830 |
| 収支差計 | 232,580 |

(参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・バランス(中立型) [2010年3月 末日現在]

利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・バランス(中立型)
【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の50%程度を基本とし、一定の規律に従い「バランス」を行います。実質組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主として
アライアンス・パースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券、
アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券 に投資します。

当投資信託の資産配分比率

比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

| | 基本資産配分 | 投資信託 |
|-------------|---------|---------|
| 世界株式Mファンド* | 50.00% | 51.39% |
| 世界債券Mファンド** | 50.00% | 49.09% |
| 短期金融資産等 | 0.00% | -0.48% |
| 合計 | 100.00% | 100.00% |

* 世界株式Mファンド: アライアンス・パースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券

** 世界債券Mファンド: アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券

当投資信託の騰落率

| | 過去 1ヵ月 | 過去 3ヵ月 | 過去 6ヵ月 | 過去 1年 | 過去 3年 | 設定来 |
|------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|--------|
| 投資信託 | 6.81% | 1.15% | 5.57% | 20.54% | 25.50% | 15.49% |
| BM | 7.16% | 1.32% | 5.43% | 22.65% | 17.20% | 4.92% |
| 差 | 0.35% | 0.17% | 0.14% | 2.11% | 8.30% | 10.57% |

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、合成ベンチマークを指します。

合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

| | 投資信託 |
|--|--------|
| MSCIワールド・インデックス ² (税引後配当金込/円ベース) | 50.00% |
| シティグループ世界国債インデックス (円ベース) ³ | 50.00% |

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2009年4月～2010年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

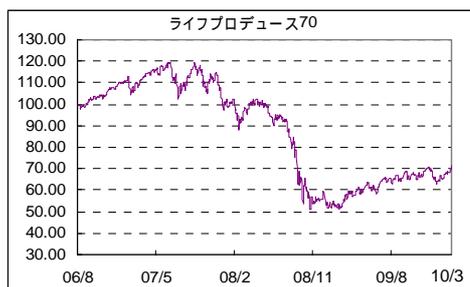
特別勘定 ライフプロデュース70 [2010年3月 末日現在]

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2009年度のユニット騰落率は+25.81%となりました。
当期の世界の債券市場は概ね上昇し、世界の株式市場は堅調に推移しました。為替市場では日本円が米ドルやユーロに対して上昇しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、世界債券Mファンドにおける社債の組入れなどがプラス要因だったものの、世界株式Mファンドの金融サービス・セクターをアンダーウェイトとしたセクター配分や金融サービス・セクターやヘルスケア・セクターにおける銘柄選択が主なマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。
今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



| ユニットプライス | | 騰落率 (%) | |
|-----------|-------|---------|-------|
| 2010年3月末 | 70.10 | 過去1ヵ月 | 8.29 |
| 2009年12月末 | 69.29 | 過去3ヵ月 | 1.17 |
| 2009年9月末 | 65.57 | 過去6ヵ月 | 6.90 |
| 2009年6月末 | 62.17 | 過去1年 | 25.81 |
| 2009年3月末 | 55.72 | 過去3年 | 35.83 |
| 2008年12月末 | 55.68 | 設定来 | 29.89 |

特別勘定資産の運用収支状況

| 項目 | 金額(千円) |
|-----------|---------|
| 利息配当金収入 | 3 |
| 有価証券売却益 | - |
| 有価証券評価益 | - |
| 有価証券償還益 | - |
| 為替差益 | - |
| その他収益 | - |
| 有価証券売却損 | - |
| 有価証券評価損 | 172,491 |
| 有価証券償還損 | - |
| 為替差損 | - |
| その他費用及び損失 | 1,822 |
| 収支差計 | 170,672 |

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

特別勘定資産の内訳

| 項目 | ライフプロデュース70 | |
|------------|-------------|--------|
| | 金額(千円) | 比率 (%) |
| 現預金・コールローン | 9,581 | 0.9 |
| その他有価証券 | 1,015,941 | 99.1 |
| 合計 | 1,025,522 | 100.0 |

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。

金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

(参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バースタイン・グローバル・バランス(積極型) [2010年3月 末日現在]

利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バースタイン・グローバル・バランス(積極型)

【委託会社】 アライアンス・バースタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組入れ比率は純資産の70%程度を基本とし、一定の規律に従い「バランス」を行います。実質組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主として

アライアンス・バースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券、

アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

当投資信託の資産配分比率

比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

| | 基本資産配分 | 投資信託 |
|-------------|---------|---------|
| 世界株式Mファンド* | 70.00% | 71.43% |
| 世界債券Mファンド** | 30.00% | 29.07% |
| 短期金融資産等 | 0.00% | -0.51% |
| 合計 | 100.00% | 100.00% |

当投資信託の騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 投資信託 | 8.49% | 1.56% | 7.45% | 27.91% | 33.75% | 23.73% |
| BM | 8.86% | 2.21% | 7.67% | 31.90% | 23.51% | 10.32% |
| 差 | 0.37% | 0.65% | 0.22% | 4.00% | 10.25% | 13.41% |

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、合成ベンチマークを指します。

合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

| | 投資信託 |
|--|--------|
| MSCIワールド・インデックス ² (税引後配当金込/円ベース) | 70.00% |
| シティグループ世界国債インデックス (円ベース) ³ | 30.00% |

* 世界株式Mファンド: アライアンス・バースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券

** 世界債券Mファンド: アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2009年4月～2010年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

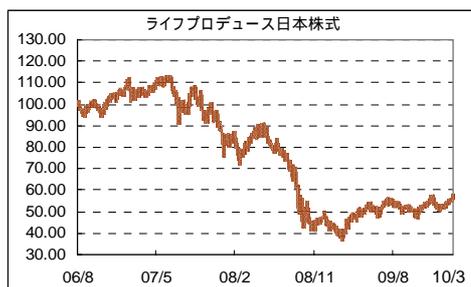
特別勘定 ライフプロデュース日本株式 [2010年3月 末日現在]

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2009年度のユニット騰落率は+33.34%となりました。(以下、バリュー株Mファンドは委託会社独自のセクター別、グロース株MファンドはGICSセクター別で記載。)
当期の日本株式市場は、概ね堅調に推移しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、バリュー株Mファンドのセクター配分は、素材のオーバーウェイトなどがプラスに寄りました。銘柄選択では、テクノロジーなどがプラス寄となりました。グロース株Mファンドのセクター配分は、公益のアンダーウェイトなどがプラスに寄りました。銘柄選択では、一般消費財・サービスなどが主なマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。
今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



| ユニットプライス | 騰落率 (%) |
|-----------|------------|
| 2010年3月末 | 過去1ヵ月 9.59 |
| 2009年12月末 | 過去3ヵ月 6.62 |
| 2009年9月末 | 過去6ヵ月 9.77 |
| 2009年6月末 | 過去1年 33.34 |
| 2009年3月末 | 過去3年 45.85 |
| 2008年12月末 | 設定来 43.05 |

特別勘定資産の運用収支状況

| 項目 | 金額(千円) |
|-----------|--------|
| 利息配当金収入 | 1 |
| 有価証券売却益 | - |
| 有価証券評価益 | - |
| 有価証券償還益 | - |
| 為替差益 | - |
| その他収益 | - |
| 有価証券売却損 | - |
| 有価証券評価損 | 95,172 |
| 有価証券償還損 | - |
| 為替差損 | - |
| その他費用及び損失 | 3,554 |
| 収支差計 | 91,619 |

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

特別勘定資産の内訳

| 項目 | ライフプロデュース日本株式 | |
|------------|---------------|--------|
| | 金額(千円) | 比率 (%) |
| 現預金・コールローン | 1,408 | 0.3 |
| その他有価証券 | 480,052 | 99.7 |
| 合計 | 481,460 | 100.0 |

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

(参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド - 1 [2010年3月 末日現在]

利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド - 1
【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリュー株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス¹⁾を行います。

当投資信託は、主としてパースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券、アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券に投資します。

当投資信託の詳細情報 資産配分比率

| | 基本資産配分 | 投資信託 |
|--------------|---------|---------|
| バリュー株Mファンド* | 50.00% | 50.28% |
| グロース株Mファンド** | 50.00% | 49.77% |
| 短期金融資産等 | 0.00% | -0.05% |
| 合計 | 100.00% | 100.00% |

* バリュー株Mファンド: パースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券

** グロース株Mファンド: アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券

当投資信託の騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 投資信託 | 9.77% | 6.95% | 10.32% | 35.61% | 45.10% | 40.90% |
| BM | 10.41% | 8.81% | 8.51% | 28.47% | 39.72% | 34.49% |
| 差 | 0.64% | 1.86% | 1.81% | 7.14% | 5.38% | 6.41% |

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、

TOPIX(東証株価指数 配当込)⁴⁾です。

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

組入上位10銘柄

| 順位 | 銘柄 | 業種 | 投資信託 |
|-------|-------------------|--------|--------|
| 1 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 4.23% |
| 2 | 日本電信電話 | 情報・通信業 | 3.75% |
| 3 | 三菱商事 | 卸売業 | 3.66% |
| 4 | 本田技研工業 | 輸送用機器 | 3.58% |
| 5 | 三井住友フィナンシャルグループ | 銀行業 | 3.54% |
| 6 | キヤノン | 電気機器 | 3.22% |
| 7 | 東日本旅客鉄道 | 陸運業 | 3.09% |
| 8 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 2.97% |
| 9 | 三井物産 | 卸売業 | 2.85% |
| 10 | 東芝 | 電気機器 | 2.73% |
| 合計 | | | 33.62% |
| 組入銘柄数 | | | 85銘柄 |

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～4」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2009年4月～2010年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

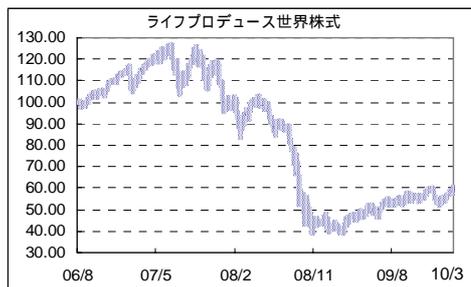
特別勘定 ライフプロデュース世界株式 [2010年3月 末日現在]

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2009年度のユニット騰落率は+36.68%となりました。(以下、委託会社独自のセクター別で記載。)
当期の世界の株式市場は概ね堅調に推移しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、セクター配分、銘柄選択共にマイナスとなりました。セクター配分では、金融サービス・セクターのアンダーウェイトなどがマイナスにはたりました。銘柄選択では、金融サービス・セクターやヘルスケア・セクターにおける選択が主なマイナス要因となりました。
今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



| ユニットプライス | 騰落率 (%) |
|-----------|---------|
| 2010年3月末 | 59.64 |
| 2009年12月末 | 58.63 |
| 2009年9月末 | 54.40 |
| 2009年6月末 | 50.47 |
| 2009年3月末 | 43.64 |
| 2008年12月末 | 43.85 |
| 過去1ヵ月 | 10.76 |
| 過去3ヵ月 | 1.72 |
| 過去6ヵ月 | 9.65 |
| 過去1年 | 36.68 |
| 過去3年 | 46.53 |
| 設定来 | 40.35 |

特別勘定資産の運用収支状況

| 項目 | 金額(千円) |
|-----------|---------|
| 利息配当金収入 | 4 |
| 有価証券売却益 | - |
| 有価証券評価益 | - |
| 有価証券償還益 | - |
| 為替差益 | - |
| その他収益 | - |
| 有価証券売却損 | - |
| 有価証券評価損 | 301,812 |
| 有価証券償還損 | - |
| 為替差損 | - |
| その他費用及び損失 | 5,793 |
| 収支差計 | 296,023 |

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

特別勘定資産の内訳

| 項目 | ライフプロデュース世界株式 | |
|------------|---------------|--------|
| | 金額(千円) | 比率 (%) |
| 現預金・コールローン | 3,607 | 0.3 |
| その他有価証券 | 1,365,217 | 99.7 |
| 合計 | 1,368,824 | 100.0 |

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

(参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ - 3 [2010年3月 末日現在]

利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ - 3
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国(日本を含む)の株式を投資対象に成長の可能性が高いと判断される「セクター」の中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資し、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券に投資します。

当投資信託の騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 投資信託 | 11.00% | 2.14% | 10.35% | 39.61% | 44.83% | 0.88% |
| BM | 11.45% | 3.51% | 11.00% | 46.67% | 33.34% | 24.08% |
| 差 | 0.44% | 1.37% | 0.66% | 7.06% | 11.50% | 23.20% |

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2003年9月30日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス²(税引後配当金込/円ベース)です。

マザーファンド受益証券の詳細情報 組入上位10銘柄

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

| 順位 | 銘柄 | 国名 | セクター | 業態 | マザーファンド |
|-------|-----------------|------|------------|----------|---------|
| 1 | グーグル | アメリカ | 情報技術 | インターネット | 1.55% |
| 2 | JPモルガン・チェース | アメリカ | 金融 | 総合金融 | 1.51% |
| 3 | アップル | アメリカ | 情報技術 | パソコン | 1.50% |
| 4 | 本田技研工業 | 日本 | 一般消費財・サービス | 自動車 | 1.48% |
| 5 | メルク | アメリカ | ヘルスケア | 医薬品 | 1.44% |
| 6 | フランクリン・リソース | アメリカ | 金融 | 投資顧問 | 1.44% |
| 7 | リオ・ティント | イギリス | 素材 | 鉱業 | 1.37% |
| 8 | BP | イギリス | エネルギー | 石油 | 1.32% |
| 9 | ロシュ・ホールディング | スイス | ヘルスケア | 医薬品 | 1.31% |
| 10 | プロクター・アンド・ギャンブル | アメリカ | 生活必需品 | 家庭用品・化粧品 | 1.26% |
| 合計 | | | | | 14.17% |
| 組入銘柄数 | | | | | 140銘柄 |

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2009年4月～2010年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 ライフプロデュース世界債券 [2010年3月 末日現在]

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2009年度のユニット騰落率は+2.00%となりました。
当期の世界の債券市場は、2009年6月にかけては、各国政府による国債の増発で供給が拡大すると懸念などから下落(利回りは上昇)しましたが、その後は、各国での金融緩和策の継続などを背景に概ね上昇(利回りは低下)しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、相対的に堅調に推移した社債を組入れたことや、オーストラリア・ドルなどを高めの比率とした通貨配分などがプラス要因となりました。
今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



| ユニットプライス | 騰落率(%) | | |
|-----------|--------|-------|------|
| 2010年3月末 | 96.06 | 過去1ヵ月 | 2.58 |
| 2009年12月末 | 96.31 | 過去3ヵ月 | 0.26 |
| 2009年9月末 | 95.66 | 過去6ヵ月 | 0.41 |
| 2009年6月末 | 96.01 | 過去1年 | 2.00 |
| 2009年3月末 | 94.17 | 過去3年 | 6.78 |
| 2008年12月末 | 92.73 | 設定来 | 3.94 |

特別勘定資産の運用収支状況

| 項目 | 金額(千円) |
|-----------|--------|
| 利息配当金収入 | 2 |
| 有価証券売却益 | - |
| 有価証券評価益 | - |
| 有価証券償還益 | - |
| 為替差益 | - |
| その他収益 | - |
| 有価証券売却損 | - |
| 有価証券評価損 | 14,118 |
| 有価証券償還損 | - |
| 為替差損 | - |
| その他費用及び損失 | 90 |
| 収支差計 | 14,030 |

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

特別勘定資産の内訳

| 項目 | ライフプロデュース世界債券 | |
|------------|---------------|-------|
| | 金額(千円) | 比率(%) |
| 現預金・コールローン | 2,833 | 0.5 |
| その他有価証券 | 609,918 | 99.5 |
| 合計 | 612,751 | 100.0 |

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

(参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド - 1 [2010年3月 末日現在]

利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド - 1
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。
実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

当投資信託の騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 投資信託 | 2.68% | 0.04% | 0.93% | 3.21% | 3.68% | 4.81% |
| BM | 3.02% | 0.95% | 0.20% | 1.57% | 3.37% | 5.13% |
| 差 | 0.34% | 0.99% | 1.13% | 1.64% | 0.31% | 0.32% |

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(円ベース)¹⁾です。

マザーファンド受益証券の詳細情報 組入上位10銘柄

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

| 銘柄 | 国名 | クーポン | 償還日 | 格付 | | マザーファンド | |
|-------|--------|------|--------|------------|-----|---------|--------|
| | | | | ムーディーズ | S&P | | |
| 1 | ドイツ国債 | ドイツ | 3.750% | 2017年1月4日 | Aaa | AAA | 4.85% |
| 2 | ドイツ国債 | ドイツ | 4.250% | 2017年7月4日 | Aaa | AAA | 3.93% |
| 3 | 米国国債 | アメリカ | 3.625% | 2020年2月15日 | Aaa | AAA | 3.83% |
| 4 | 日本国債 | 日本 | 1.500% | 2015年9月20日 | Aa2 | AA | 3.80% |
| 5 | ドイツ国債 | ドイツ | 4.000% | 2016年7月4日 | Aaa | AAA | 3.37% |
| 6 | 日本国債 | 日本 | 1.300% | 2014年3月20日 | Aa2 | AA | 3.36% |
| 7 | イギリス国債 | イギリス | 5.000% | 2018年3月7日 | Aaa | AAA | 3.20% |
| 8 | イギリス国債 | イギリス | 8.000% | 2015年12月7日 | Aaa | AAA | 2.88% |
| 9 | フランス国債 | フランス | 3.250% | 2016年4月25日 | Aaa | AAA | 2.47% |
| 10 | ドイツ国債 | ドイツ | 3.500% | 2019年7月4日 | Aaa | AAA | 2.40% |
| 合計 | | | | | | | 34.08% |
| 組入銘柄数 | | | | | | | 156銘柄 |

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険

用語説明

- *1 「リバランス」とは、当初決定した資産配分比率に調整することをいいます。
- *2 「MSCIワールド・インデックス」とは、MSCI Inc.が世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。
MSCIワールド・インデックスに関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
MSCIワールド・インデックス(税引後配当金込/円ベース)は、MSCIワールド・インデックス(米ドルベース)をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。
- *3 「シティグループ世界国債インデックス(円ベース)」とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。
シティグループ世界国債インデックス(円ベース)に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。
- *4 「TOPIX(東証株価指数 配当込)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている普通株式全銘柄の浮動株調整後の時価総額を指数化し、配当収益を考慮したインデックスであり、市場全体の動向を反映するものです。TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下「東京証券取引所」)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

年金払定期付積立型変額保険のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額保険です。特別勘定資産の運用は、主として国内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託を利用して運用され、株式および公社債の価格変動と為替変動などに伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが払込保険料総額を下回る場合があります。特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

お客様にご負担いただく費用は、危険保険料、各保険契約管理費、および運用関係費の合計額となります。

<第1回の年金の支払事由発生前にかかる費用>

| 項目 | 費用 | 備考 |
|-------------------------|--|--|
| 危険保険料 | 毎月の初日から末日までの日々の危険保険金額を平均した額に、危険保険料率を乗じた金額 | 月単位の契約応当日の前日末に積立金から控除します。 |
| 保険契約管理費 (保険料比例部分) | 保険料(任意一時払保険料を除く)に対し、 3.00% | 各保険料を特別勘定に繰り入れる際、当該保険料から控除して積立金に充当します。 |
| 保険契約管理費 (定額部分) | 毎月 250円(固定費) | 月単位の契約応当日の前日末に積立金から控除します。 |
| 保険契約管理費 (危険保険金額比例部分) | 毎月の初日から末日までの日々の危険保険金額を平均した額に対し、 0.01%/月 | 月単位の契約応当日の前日末に積立金から控除します。 |
| 保険契約管理費 (積立金額比例部分) | 積立金額に対し、 年率1.00% (1.00%/365日を乗じた金額) | 毎日、積立金から控除します。 |

危険保険料は、危険保険金額が積立金額の変動によって変動すること、また、危険保険料率が被保険者の年齢や性別によって異なることから具体的な数値を記載することができません。危険保険料率について詳しくは、「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

毎月の初日から末日までの日々の危険保険金額を平均した額が1,000万円を超える場合、高額割引が適用され、その月の保険契約管理費(危険保険金額比例部分)がお安くなります。ただし、基本年金年額の減額や積立金額の増加などにより、危険保険金額が1,000万円以下となる場合には、高額割引は適用されなくなります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険のリスク及び諸費用について

< 積立金の移転や解約などにかかる費用 >

| 項目 | 時期 | 費用 | 備考 |
|---------|-----------|--|---|
| 積立金移転費用 | 積立金の移転時 | [書面による移転申込みの場合] 月1回目1,500円、 2回目以降は1回につき2,300円 ^(*) | 毎回に移転について積立金から控除します。 |
| | | [インターネットによる移転申込みの場合] 月1回の積立金の移転は無料、 2回目からは1回につき800円 ^(*) | 1ヵ月に2回以上積立金の移転を行なう場合、 2回目からの移転について積立金から控除します。 |
| 解約控除 | 解約時 | 積立金に対する解約控除額(積立金に解約控除率10%~1%を乗じた金額)と危険保険金に対する解約控除額(危険保険金に解約控除率0.50%~0.05%を乗じた金額)の合計額 | 解約日が契約日より起算して10年未満の場合には、 経過年数に応じて計算した金額を、 解約日の翌営業日の積立金額から控除します。 |
| 解約控除 | 積立金の一部引出時 | 積立金に対する解約控除額(積立金に解約控除率10%~1%を乗じた金額) | 一部引出日が契約日より起算して10年未満の場合には、 経過年数に応じて計算した金額を、 一部引出請求金額から控除します。 |

(*) 月単位の契約応当日から翌月の契約応当日の前日までに積立金移転を行った回数

経過年数については1年未満は切り上げとなります。

無償引出限度額(解約日または一部引出日の前日の積立金額の10%相当額)と同額の積立金額までは上記の積立金に対する解約控除額の計算対象となりません。

ただし、すでに積立金の一部引出が行なわれている場合はその合計額を無償引出限度額から差し引きます。

解約時の払戻し金の支払いに際しては、解約日の属する月に控除すべき危険保険料および保険契約関係費を払いもどし金額から差し引いてお支払いします。

基本年金年額の減額、契約の型の変更、保険期間の短縮の際にも、危険保険金額の減額により、危険保険金額に対する解約控除が適用される場合があります。

将来、上記の内容が変更になることがあります。

運用関係の費用

| 項目 | 時期 | 費用 | 備考 |
|-------|----|--|---------------------------------|
| 運用関係費 | 毎日 | ライフプロデュース30 年率0.7770%程度 (税抜年率0.74%程度) | 投資信託の純資産額に対して、 毎日積立金から控除します。 |
| | | ライフプロデュース50 年率0.8295%程度 (税抜年率0.79%程度) | |
| | | ライフプロデュース70 年率0.8820%程度 (税抜年率0.84%程度) | |
| | | ライフプロデュース日本株式 年率0.8610%程度 (税抜年率0.82%程度) | |
| | | ライフプロデュース世界株式 年率0.8925%程度 (税抜年率0.85%程度) | |
| | | ライフプロデュース世界債券 年率0.5460%程度 (税抜年率0.52%程度) | |

運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料及び消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、

これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

これらの運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

< 第1回の年金の支払事由発生以後にかかる費用 >

| 項目 | 時期 | 費用 | 備考 |
|-------|-----------|----------|--|
| 年金管理費 | 年単位の契約応当日 | 支払年金額の1% | 年金支払開始日以後、 年単位の契約応当日に責任準備金から控除されます。 |

年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>